介護部会 川崎ブロック議事録

・実施日 令和 4 年 9 月 21 日（水）14：00～15：00
・開催場所 各施設（Zoom）
・参加施設 6 施設
　千の風川崎・ろうけん宮前 ・ベルサンテ・レストア川崎・帝京大学老人保健センター・虹ヶ丘リハビリケアセンター

議事 1、「介護人材の確保について」
・現状
　人材もギリギリでシフトが回っていない。
　代休も回せていない。
　定着率はあるが、新入職員が入ってこない。
　新入職員の確保が難しい。
　職員でコロナ陽性により欠勤者が出るとシフトが回らない。
　派遣職員でつないでいる。
　非常勤は雑務メインで行っている。

・離職理由
　忙しい、理想と現実が違う。
　希望の給与と合わない。
　コロナで職員が大量に退職した。

・離職防止対策として取り組んでいること。
　満足度アンケート。
　満足度調査。
　毎月の公休を 10 日に増やし、年間 121 日休みへ（有給が取りづらくなっている）。
　コミュニケーションを密にとり不満を聞いていく。
　助け合いを意識。
　定期面談行っているも改善しきれていない。
　ユニットを一つ閉鎖（ユニットを戻した際の人材確保が課題）。
　役職により職員の変化をいち早く気付けるようにする。
　教育制度の充実（キャリアデザイン）→レベルが上がるごとに手当て有り。

・人材が充足している施設ではどのようなことをしているのか
　欠勤者がいた場合、シフトに入っていない役職者が代わりにでる。

ありがとうカード、意見箱、意見箱（事務長直行便）を実施し不満の解消や意見の取入れを行っている。

半年に１回介護職と一般職面談を行う。(事務長+他職員で１対１にならないようにする）

派遣職員を 10 人雇用している。

議事２、「介護現場におけるＩＣＴについて」

現在、個別浴槽に後付けのリフトを使用している。

Hug とパルロという機械を今後レンタルしていく予定。

赤外線で居室の利用者を見守れるシルエットセンサーを設置検討中。

共有部分にカメラを設置し、転倒の等の詳細を把握する。

ICT 委員会を立ち上げ、何が必要か調査中。

パルロを導入しているも、職員が機械の操作に取られてしまう為活用しきれていない。

又、高価なものの為使用に注意が必要。

ICT は活用していかなければいけないと思うが、進められていない。

見守りカメラと呼び出しベルを設置していく予定。（コロナの際に使用していく予定)。

施設の方針で ICT に頼らず職員で対応していく方針、導入は検討していない。

議事 3、「その他」

7 月末から 9 月末まで二度のコロナクラスターあり。職員陽性者多く、他部署から人員を確保し対応していた。

コロナ感染症の勉強会に参加しており、N95 マスクをすることで職員への感染を防ぐことが出来ると聞き、二度目のクラスターで実施する。

一度目のクラスターでは、1 カ月近く収束にかかったが、二度目のクラスターでは、20 日程度で収束出来た。

N95 マスクをすることで職員への感染を防止することができた。

職員の感染で見られるのが、ステーション内や休憩中の会話などで感染してしまうことがある為、課題となる。

以上